

<p>法人理念（事業運営方針）</p>	<p>利用者と職員の関係性を基軸とし、利用者の思いを支援する。</p>		<p>支援方針</p>	<p>自分でやった！できた！を大切に、子どもさん一人ひとりが安心できる環境の中で一人ひとりの発達に合わせた支援を行います。 ①見通しをもち活動に取り組む。今することを理解して、見通しをもち落ち着いて過ごせるように支援する。②伝えたいことを伝えられるコミュニケーションを目指す。まずは「いやです」「やりたくない」拒否を教え、はじめは受入。そのうち伝えることと受け入れられることは別であることを教えていく。③1人で出来る経験遊びの中で、自分で考えること、選ぶことを支援していく。</p>								
<p>支援目標</p>	<p>1歳児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保育士に援助されながら、基本的な生活習慣の基礎が身に付く。 ●安心できる保育士との関係を築きながら、安全な環境の下で生活や遊びに取り組む。 ●探索活動を通して、十分に聞く、見る、触れるなどの経験をし、人や周りのものへの関心をもつ。 ●適切な環境により、運動、言葉を獲得する。 ●感じたことや身の回りの様々な体験を保育士に伝えようとする。 	<p>3歳児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣が身に付き、積極的に活動する。 ●身体十分に動かして、いろいろな動きのある遊びを楽しむ、心地よさを味わう。 ●遊びのルールを知り、相手の相手の気持ちを考えながら楽しく遊ぶ。 ●感じたことや自分の要求を自分なりの方法で表現する。 	<p>5歳児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生活の中で充実感や満足感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に動かせ、見通しをもって自ら健康で安全な生活をする。 ●友達と様々な体験を重ねる中で、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いをつけながらきまりを作ったり、守ったりする。 ●遊びが深まる中で、数量・図形・文学・比較などへの関心・感覚を身に付ける。 ●生活の中で感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しみ、意欲を高める。 ●就学に向けて自覚や自信を持ち積極的に行動する。 						
	<p>2歳児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●甘えや自己主張を受け止めてもらいながら、自分の気持ちを安心して表す。 ●保育士との安定的な関わりの中で、基本的な生活習慣を身につける。 ●身のまわりのことを模倣遊びやごっこ遊びを楽しみ保育士の仲立ちの中で友達との関わりを深める。 ●生活や遊びに必要なルールやきまりがあることを知る。 ●身近な自然や社会の事象に触れる中で、関心や好奇心を深める。 ●会話や絵本を楽しむ中で言葉を増やし言葉による理解を深める。 	<p>4歳児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●集団生活の中で、他人の心や立場を気遣う感受性を育みながら、身の回りのものにかかわろうとする。 ●園生活に見通しをもち、喜んでいろいろな活動に取り組み、日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ●友達とイメージを共有し、保育士や友達との遊びの経験を広げ、いろいろな方法で表現する。 ●身近な環境や自然事象に興味、関心をもち、発見を楽しんだり、考えたりして生活に取り入れる。 								
<p>支援内容</p>	<p>5領域</p>	<p>1歳児</p>	<p>2歳児</p>	<p>3歳児</p>	<p>4歳児</p>	<p>5歳児</p>	<p>家族支援</p>					
	<p>健康・生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●歩行の確立による行動範囲の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ●排泄の確立 ●運動、指先の機能の発達 	<ul style="list-style-type: none"> ●意欲的な活動 ●基本的な生活習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康への関心 ●体全体の協応運動 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康増進とさらなる挑戦への意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが理解していること、苦手としていること等を保護者と共有したり、保護者の質問など相談を受ける。 ●特性やかかわり方を身に付けてもらえるように保護者等の勉強会や研修会の案内を行う。 ●子どもの成長に気付き、子育ての喜びが感じられるよう子育て支援に努める。 ●保護者における総合的な子育て支援を推進するとともに、地域における中心的な役割を果たす。 					
	<p>人間関係・社会性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●周囲の人への興味、関心の広がり 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己主張の表出 ●友達との関わりが増大 	<ul style="list-style-type: none"> ●道徳性の芽生えと並行遊びの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●仲間との深いつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会性の確立と自立心の育成 						
	<p>認知・行動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●好奇心を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然事象への積極的な関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な環境への積極的な関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会事象への関心の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会、自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ 	<p>移行支援</p>					
	<p>言語・コミュニケーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉の獲得 ●話しはじめ 	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉のやり取りの楽しさ 	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉の美しさ、楽しさへの気付き ●生活の中で必要な言葉の理解と使用 	<ul style="list-style-type: none"> ●伝える力、聞く力の獲得 	<ul style="list-style-type: none"> ●文字や数字の獲得による遊びの発展 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の保育所等における子どもの育ちの支援に協力し、保育所等の職員に対する支援力を向上させることが出来るように、子どもの発達段階や特性の理解を促すとともに、子どもの発達段階や特性を踏まえたかかわり方や賢教頭について助言を行う。 ●子どもが可能な限り地域の保育、教育等で教育等を受けられるようにしていく支援の提供を行う。 					
	<p>運動・感覚</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな素材を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ●象徴機能の発達とイメージの膨らみ 	<ul style="list-style-type: none"> ●自由な表現と豊かな感性の育ち 	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな感性による表現 	<ul style="list-style-type: none"> ●ダイナミックな表現●感動の共有 						
<p>環境及び衛生管理並びに安全管理</p>	<p>災害への備え(避難計画等別紙)</p>		<p>健康支援／状態把握・増進・疾病対応</p>		<p>安全対策・事故防止</p>		<p>研修計画</p>		<p>地域支援・地域連携</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ●事業所内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ●子ども及び職員員の清潔保持 ●感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有 ●感染症対策委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難訓練(火災、地震、津波、)の実施(毎月) ●引き渡し訓練 ●被災時における対応と備蓄 		<ul style="list-style-type: none"> ●身体測定(毎月)、日々の健康状態の把握(登園時健康チェック) ●嘱託医による健康診断(内科 年2回) ●県の巡回による歯科検診(年1回) ●登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応 ●年1回職員健康診断 		<ul style="list-style-type: none"> ●毎月防犯訓練(安全計画に基づく) ●消火器点検(毎月1回) ●救命講習会(年1回) ●送迎車両点検(運行前点検等) ●遊具の点検●虐待防止委員会 		<ul style="list-style-type: none"> ●内、外研修(虐待、感染防止、BCP、コンプライアンス等) ●アドバイザー研修(年4回) 		<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの育ちや家庭の生活の支援に係る地域の関係機関や他の事業所等との連携を通じて、子どものライフステージや家庭の状況に応じて、切れ目のない一貫した支援を提供していく。 ●自立支援協議会(子ども部会)に参画 ●関係機関との連携を進め、地域の支援体制の構築を図る。 			
<p>情報公開等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●人権尊重 ●虐待確認保護 ●個人情報保護 ●苦情処理解決対応 ●適正な運営のための会計事務所による外部監査 ●ホームページの開設 		<p>自己評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自己チェックリストの実施と定期考課表、期初の目標と期末目標達成評価の策定 ●児童発達支援ガイドラインに基づく評価(保護者用・職員・事業者用ホームページによる公開) 		<p>営業時間</p>		<p>支援提供時間 9時00分～14時00分 延長支援 14時00分～16時00分</p>		<p>主な行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ●親子遠足 ●座談会(保護者) ●個別懇談 ●参観日 		<p>送迎</p>	<p>有り</p>